

校歌・校章・校訓の由来

校歌の由来

昭和 30 年に 30 周年記念事業として全国に校歌歌詞を募集。そのうち、一等当選した広島県在住の富岡恵氏が作詞したものを、校歌として記念式当日の 9 月 23 日に制定。鹿児島大学音楽科教授武田恵喜秀氏に作曲を依頼。昭和 31 年から歌われてきた。

校章の由来



昭和 23 年生徒から募集。集まったものの中から投票で選び、職員及び生徒会執行部の考えも織りまぜて修正後、決定した。

3 本のペン先によって水の字を描いたものである。水は垂水の水、ペン先は真摯な学究の徒たるべき高校生の本分を表す。

校訓の由来

和 学 行

創立 70 周年を記念し、垂水の飛躍を期して平成 7 年 11 月 10 日制定したものである。

制定に当たっては、従来の教育目標「明朗親和，学力充実，責任遂行，勤労愛好」の精神を踏まえるとともに、新しい時代の要請に応える、より高次の教育理念として、生徒の学業の端的な指標となるよう考慮した。